

山口市内に
かつて存在していた
映画館の
軌跡を巡る



金竜館 田中絹代来館時(1937年) 提供:村藤直子

Afternote

アフターノート

山口市 映画館の歴史

2023年11月25日[土]—2024年3月17日[日]

開場時間=10:00-19:00

休館日=火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始12月29日[金]~1月3日[水] 臨時休館日=2月28日[水]—3月7日[木]

山口情報芸術センター[YCAM] スタジオB、2階ギャラリー
入場無料



20th ANNIVERSARY

Afternote

—Memories and Archives of Cinema in Yamaguchi City—



志村信裕監督作品「見島牛」



「愛の讃歌」 ©1967 松竹株式会社



金竜館(1935年) 提供:村藤直子

Afternote

アフターノート

山口市 映画館の歴史

主催=山口市、公益財団法人山口市文化振興財団
後援=山口市教育委員会
助成=令和5年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
技術協力=YCAM InterLab
企画制作=山口情報芸術センター[YCAM]



Design: Shunsuke Onaka (Calamari Inc.)

【展覧会関連上映】

会場=スタジオC

料金(当日券のみ)=一般1,300円/any会員、25歳以下、
65歳以上、障がい者(介助者1名)800円

※上映時間等詳細は、YCAMのウェブサイトをご確認ください

山口県内ロケ作品

11月25日[土]—12月3日[日]、2024年3月8日[金]—17日[日]

「流離の岸」(1956年/101分/配給:日活)
[ロケ地:山口市、萩市] ※先着プレゼントあり

12月3日[日]—10日[日]

「追跡」(1961年/93分/配給:日活)
[ロケ地:山口市、周南市、光市、防府市、岩国市、萩市、
宇部市、美祢市、柳井市、下松市] ※先着プレゼントあり

12月13日[水]—17日[日]

「隣人のゆくえ」(2017年/77分/配給:灯台守・柴口組)
[ロケ地:下関市]

12月16[土]、17日[日]

「ウントホント」(2022年/82分/配給:灯台守・柴口組)
[ロケ地:下関市]

12月20日[水]—28日[木]

「風の島」(2022年/107分/配給:スールキートス)
[ロケ地:周南市、柳井市]

1月17日[水]—28日[日]

「集金旅行」(1957年/103分/配給:松竹)
[ロケ地:山口市、岩国市、萩市]

2月14日[水]—26日[月]

「愛の讃歌」(1967年/94分/配給:松竹)
[ロケ地:柳井市]

3月8日[金]—17日[日]

志村信裕監督作品「見島牛」(2015年/20分)
[ロケ地:萩市] 料金:500円 ※any会員無料

田中絹代監督作品

1月29日[月]—2月4日[日]

「月は上りぬ」(1955年/102分/配給:日活)

2月5日[月]—11日[日・祝]

「乳房よ永遠なれ」(1955年/110分/配給:日活)

アンコール特別上映&トークイベント

1月4日[木]—14日[日]

「ふたりの桃源郷」(2016年/87分/製作:山口放送)
「ぼけますから、よろしくお願いします。」
(2018年/102分/配給:ネツゲン)

トークイベント

1月7日[日] 12:40-13:40 ※「ふたりの桃源郷」上映後
登壇=佐々木聰(「ふたりの桃源郷」監督)
信友直子(「ぼけますから、よろしくお願いします。」監督)

2月10日[土]—16日[金]

「プリズン・サークル」(2019年/136分/配給:東風)

トークイベント

2月11日[日・祝] 13:00-14:00 ※「プリズン・サークル」上映後
登壇=坂上香(監督)
佐藤忠典(フリーアナウンサー)



「流離の岸」 ©日活



「追跡」 ©日活



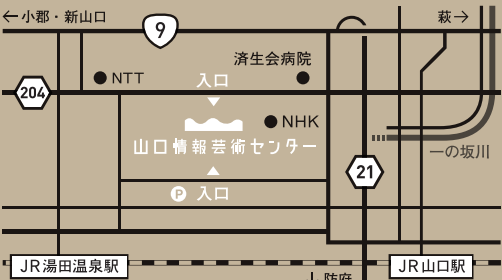
【特別展示】

金竜館の記憶と記録 1922-1991

期間=2023年12月1日[金]—2024年1月15日[月]

時間=10:00-19:00 年中無休(年末年始を除く)

場所=COFFEEBOY 山口店(コーヒーボーイ 山口店/山口市道場門前2-2-5)



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

〒753-0075 山口県山口市中国町 7-7
TEL 083-901-2222 / FAX 083-901-2216
information@ycam.jp | www.ycam.jp

映画館の記憶と記録

山口市は日本で数少ない、民間の映画館がない県庁所在地ですが、1960年をピークとした映画全盛期には10館を超える映画館が存在していました。その多くが芝居小屋として始まり、大衆演劇の一座から有名な俳優まで、多くの役者が舞台を踏みました。やがて、娯楽の王様は芝居から活動写真(映画)へと代わり、芝居小屋には映写機が据えられ、映画を‘観る人’‘観せる人’、それぞれが銀幕の虜となりました。人々はどこからきて、どこへ行ってしまったのか―。

本展「Afternote 山口市 映画館の歴史」では、かつてあった映画館の「Afternote」=あとがきとして人々の足跡を追い、映画館とともに消えてしまったもの、現在に受け継がれているものを再確認していきます。そして、地域の記憶と記録を巻き込みながら、映像メディアの変貌を振り返っていきます。

展示会場では、かつて山口市に存在した映画館の取材を通じて集められた、映画のポスターや記録写真、印刷物、道具類等の資料が並び、映画館マップや年表、また1929年に撮影された記録映画「甦生の大山口」をデジタル化し、鮮明に生まれ変わった映像で展示上映するほか、今回の展覧会に併せて制作した現代美術作家・志村信裕の映像作品「Afternote」(60分)を初公開します。関連イベントとしてワークショップやトークイベントの開催、関連上映として山口にゆかりのある作品を上映します。



かつて山口市に存在した映画館 (閉館時の名称)

① 山口座 ピカデリー劇場 金竜館 山口東映 山口セントラル 有楽座 山口映劇 ば・る・るプラザシネマ 湯田劇場 山口スカラ座	② 小郡寿座 ニュー丸三 小郡名画座 ③ 阿知須劇場 ④ 秋穂座 ⑤ 堀座 ⑥ 島地寿座 ⑦ 八千代館 徳佐寿座 ⑧ 仁保倶楽部
--	---

金竜館ポスター 提供:山回県立博物館

山口映劇チラシ 提供:まちづくり山口

連休のお楽しみ映画はこれだ

市民の皆様へ

山口映劇

55!山口映劇

山口市議会 TEL:1143

関連イベント

アーティストトーク

日時=2023年11月25日[土] 14:15-15:45
会場=スタジオC 定員=100名(申込不要)
登壇者=志村信裕(「Afternote」監督)、
会田大也(YCAM)、前原美織(YCAM)

アフターウォーク―映画館の跡地を巡る

※志村信裕も参加します

日時=2023年12月3日[日] 13:30-15:30
集合場所=COFFEEBOY 山口店
定員=10名(先着／要申込)

幻灯機づくりワークショップ

日時=2023年12月23日[土] 14:00-16:00
会場=レストラン・スペース
定員=10名(先着／要申込)
対象=小学3年生以上
協力:山口市歴史民俗資料館

※要申込のイベントは、YCAMウェブサイトよりお申し込みください。

古地図で楽しむ―映画館の跡地、映画ロケ地探訪

日時=2024年1月17日[水] 12:15-13:15
会場=スタジオC 定員=100名(申込不要)
講師=重田香澄(山口県文書館専門研究員)

35mmフィルムを楽しもう!映写技師レクチャー

日時=2024年1月20日[土] 12:30-13:30
会場=スタジオC 定員=100名(申込不要)
講師=村岡由佳子(映写技師)

クロージングトーク

日時=2024年3月17日[日] 14:00-15:00
会場=スタジオC 定員=100名(申込不要)
登壇者=志村信裕、石井草実(リサーチャー)、前原美織(YCAM)

アフターノート

Afternote

山口市 映画館の歴史



映像作品「Afternote」(2023年)

志村信裕映像作品「Afternote」

上映:毎時30分～(最終上映 17:30～)

かつてYCAMで35mmフィルムの映写技術を学び、映写に従事した経験を持つ現代美術作家・志村信裕が、YCAMのスタッフとともに山口市内を中心とした地域に眠る資料や、200名を超える関係者らのインタビューを通じ、映画館が稼働していた時代の記憶を掘り起こす。映画館とは市民にとってどのような存在だったのか? 記憶と記録を綴ったドキュメンタリー。(2023年/日本/60分/監督:志村信裕)



Photo: Ryuichi Maruo

志村 信裕 (しむら・のぶひろ)

1982年東京都生まれ。現在、千葉県を拠点に活動。2007年武蔵野美術大学大学院映像コース修了。秋吉台国際芸術村での滞在制作をきっかけに2013年から2015年まで山口市を拠点にする。2016年から2018年まで文化庁新進芸術家海外研修制度により、フランス国立東洋言語文化大学(INALCO)の客員研究員としてパリに滞在。身近な日用品や風景を題材にした映像インスタレーションから、近年では各地でのフィールドワークを元に、ドキュメンタリーの手法を取り入れた映像作品を制作。ローカルな視点から、可視化され難い社会問題や歴史に焦点をあてるプロジェクトを手がける。



こうせい「甦生の大山口」

1929年(昭和4年)の市制執行を記念して撮影された記録映画。道場門前にあった映画館・金竜館の経営者でもあった村藤金龍氏が総指揮を務めた。山口市の全景から始まり、市制を祝う祭典の様子や市民が参加する仮装行列が生き生きと映し出される。また山口市の名所、官公庁、学校、旅館、そして映画館等、町の様子も紹介される。本作品は市制祝賀活動写真として撮影後すぐに金竜館で上映され、大入り満席を記録した。(1929年/66分/総指揮:村藤金龍)



金竜館(1991年) 撮影:吉見健太郎

「甦生の大山口」(1929年)

